(表紙)

　梵鐘御取り調べ書き上げ帳

　　　　　多羅尾久右衛門当分御預り所

　　　　　　　河州丹北郡三宅村

　　　　　　　　　　真言宗無本寺

　　　　　　　　　　　　　　　梅松院

　在り来り　　　　　　　　長さ　三尺六寸五歩

貼り紙部分(別記)

一、梵鐘　　　　　　　　　差し渡し　弐尺五寸

　　　　　　　　　　　　　厚さ　　弐寸六歩

　　　右に

　　　　　願以此功徳　普及於一切

　　　　　我等与衆生　皆共成佛道

　　　　　諸行無常　　是生滅法

　　　　　生滅々己　　寂滅為業

　　正徳元辛卯天九月朔日

　　　　　　　　河州丹北郡三宅村

　　天神社僧　　　　　　　　梅松院

　　　　　　現住菩薩沙弥玄照

　　　　　　　再与施主　當村中

右は当村御料私領入組氏神除地境内にこれ有り

　古来より十二時の時之鐘に相用い申し候、尤檀

　越の義は当村より寄進に御座候て村持ちに

　御座候、以上

右の通り相違御座無く候、以上

　　　　　　　多羅尾久右衛門当分御預り所

　　　　　　　　　河州丹北郡三宅村本郷

　安政三辰三月　　　真言宗無本寺

　　　　　　　　　　　　　　　梅松院

　　　　　　　　　　　　　　　看住

　　　　　　　　　　　　　　　　　慈門(印)

信楽

　 御役所

(貼紙部分)

但

　米七石　田地作徳米有之

　　　内　米四石　宮守并燈明料同三石　鐘築料